

第369回生存圏シンポジウム  
生存圏データベース全国共同利用研究成果報告会  
「モノのデータベースから電子データベースまで」

2018年3月9日(金) 13:30 開始  
京都大学生存圏研究所 木質ホール 3階大会議室

参加無料  
申込不要

13:30-14:00

極域科学における電子データと資試料データの現状  
中村卓司(国立極地研究所)

14:00-14:30

木材科学における標本資料と電子データ利用の現状  
小林加代子, 杉山淳司(京都大学生存圏研究所)

14:30-15:00

近赤外ハイパースペクトラルイメージング画像のディープラーニング認識  
—木材樹種判別への適応—  
稲垣哲也, 金山英誠, 土川覚(名古屋大学生命農学研究科)

15:00-15:30

紫外線によるビタミンD生成のメリットと人体への悪影響  
～HPからの準リアルタイム情報提供～  
中島英彰(国立環境研究所)

15:30-16:00

ポスターセッション(全国国際共同利用成果報告)

16:30-17:00

宇宙科学研究所が保有する『データ』の取り扱いについて  
海老沢研(宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所)

16:30-17:00

様々な太陽地球環境データの統合解析を推進するための  
IUGONETデータ解析システムについて  
新堀淳樹(名古屋大学宇宙地球環境研究所)

17:00-17:30

オープンサイエンス政策の動向と科学研究資料の新たな位置づけ  
村山泰啓(情報通信研究機構)

17:30-18:00

総合討論

問い合わせ先  
京都大学 生存圏研究所 バイオマス形態情報分野  
0774-38-3634

